いきがい

「障がい者のボランティアっていったいどんなことをするの」「障がい者のことを知らないとできないのでは」。そんな疑問がわいてくると思います。ここで紹介する人たちもみな、はじめはそうでした。特別な技術がないから…と気後れする必要はありません。その時間を楽しむだけでよいのです。新しい出会いやたくさんの気づきがあるボランティア活動が、その人自身のいきがいになっています。

週1回、3時間の温かい交流

週1回は決まって知的障がい者の援護施設「すまいる」に行くという渡邊弘子さん。9時〜正午の3時間、パン作りの手伝いをしています。「すまいる」では障がい者の工賃のためパン製造・販売を行っています。1日に最低でも300個のパンを焼きます。渡邊さんの仕事は生地作りやできた生地を商品規格にあわせて丸める作業です。「私でも役に立つなら何かやりたいという気持ちでボランティアスタッフに応募しましたが、気づいたらもう5年です」と渡邊さん。メンバーや職員同様慣れた手つきで仕事をこなしていきます。作業中「寒くない？」「水を飲みなさいよ」と声をかけるメンバーを「温かい人たち」と紹介してくれました。

作業中は白衣・帽子・マスクを着けて、衛生面には特に注意しています

渡邊弘子さん

初めてのボランティアは「援農」。そこで知り合った人が障がい児とあちこちに出かけるのを楽しそうに話す様子を見て「障がい者ボランティアへの敷居が低くなった」と言います

焼き上がったばかりのパン。ボランティアが作業に入ることで、もう一つの目と手が加わり、商品の質がさらにアップします

写真：赤石雅紀

「ありがとう」が元気の素

「毎日が楽しくてしかたありません」と屈託なく話す和田有未さん。福祉作業所「めじろ作業所」の設立当初から関わっています。特定の仕事があるわけではありませんが、時間があればやってきて作業全般を手伝います。ふだんは看護師として病院に勤務。当直のときに聞こえに障害のある人が通訳者を同伴しないで来院したことがあり、思い立って手話教室に通ったことがきっかけでした。作業所メンバーの旅行には「私も行っていいですか〜」と手を挙げて参加。車いすを押したり、トイレ介助などできることを手伝いながら一緒に旅を楽しみます。「ボランティアは特別なことじゃないとわかりました。ありがとうと言われることが本当にうれしいんですよ」。

和田有未さん

45歳のときに看護師の仕事に復帰。現在市内の病院勤務。健康法は「よく寝て、よく食べること」。間食はせず、夜遅く食事をしないように心がけていたらこれまで病気知らず

いつも笑顔で元気はつらつ。「仕事をさせてもらえることがありがたい」が口癖。両親の教えだそう

職員やメンバーと一緒にボランティアスタッフも旅行に参加します。「和田さんが参加するなら、私も行く」と言われるとたまらなくうれしい

お酒を飲まずに過ごす健康的な休日

知的障がい者の福祉作業所「新の会」の園芸サポートをする佐藤武さん。きっかけを尋ねると「酒が好きだから、ヒマだと朝からのんじゃうんだよ」と照れ隠し？　家でゴロゴロしているよりはと出かける口実を探して市民活動支援センターの広報紙「えんがわだより」をめくっていると、自宅近くでできるボランティアを発見。自分のペースで無理をせずに活動できるのがいいと言います。佐藤さんはそれまで障がい者と接する機会はありませんでした。「以前は電車で大声を出す人に驚いたけど、今はそうなる理由が理解できるようになった」と佐藤さん。一緒に作業をしながらメンバーの特性を少しずつ理解し、その人の家族の気持ちまで思いやる気持ちがわいてきたそうです。

知的障がい者にとって、園芸作業で適度に体を動かすことは生活リズムを整える効果があります。メンバー6人が同時に屋外活動を行うには付き添いの手が足りないため、ボランティアスタッフが一緒に作業をしながら見守ります

佐藤武さん

競艇場で40年間飲食店を経営。ふだんはパート職員の女性に囲まれた仕事。レースのない月の半分はオフ

メンバーに気さくに声をかけながら楽しく作業。障がい者を特別扱いせず、いつでも自然体で接します

ママ友パワーで100食完売

知的障がい者の作業所を運営する「調布を耕す会」主催のイベントでメンバーの焼きそば販売をサポートするママ友6人。子育てでお世話になった地域に恩返ししようと、5年ほど前から杉森小学校の納涼祭りで出すチヂミの露店を見てスカウトされました。「自分たちが楽しいうえに喜んでもらえるのが嬉しい」と口をそろえます。集合がかかればそれぞれが得意をいかし、味付け、会計、呼び込み、看板作りなどぬかりはありません。「メンバーさんたちは純粋なのでズルや間違いが大嫌い。一生懸命やらないとプイッとそっぽ向かれちゃいます」と全力で100食を完売する彼女たちは、今や「やきそばガールズ」と呼ばれるイベントの人気者です。

やきそばガールズ

20年来のママ友チーム。2012年にジャングルバザーデビュー。代表・野村則子さん、横川久美さん、西山葉子さん、大西真由美さん、小松理佳さん、田中悦子さんの6人

「ジャングルバザー」での焼きそばブース。左から横川さん、大西さん、代表の野村さん

やきそばガールズさんだ〜！と作業所スタッフも一緒にポーズ。バザーで焼きそばブースを盛り上げた仲間です